

# 質問紙調査から見える児童・生徒の姿

## 【何事にも前向きに取り組む傾向】

「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」「自分には、よいところがあると思いますか」という項目（表4）について、小・中学校とともに肯定的な回答割合が国や

県よりも高い数値を示しています。

子ども達のよさを認め、努力したことや評価していくことや、家庭や学校の中で自分の役割について責任を持たせる取り組みが結果に結びついていると考えられます。

また、「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」

(表4) 質問事項	小学校 6年生				中学校 3年生			
	国	県	大山町	全国との差	国	県	大山町	全国との差
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	77.4	79.2	85.1	7.7	71.0	73.1	85.5	14.5
自分には、よいところがあると思いますか	77.9	78.2	83.4	5.5	70.7	73.2	84.8	14.1

(表5) 質問事項	小学校 6年生				中学校 3年生			
	国	県	大山町	全国との差	国	県	大山町	全国との差
家で、自分で計画を立てて勉強していますか	64.5	65.0	82.7	18.2	51.5	54.3	72.5	21.0

(表6) 質問事項	小学校 6年生				中学校 3年生			
	国	県	大山町	全国との差	国	県	大山町	全国との差
人が困っているときは、進んで助けていますか	85.3	86.3	81.8	-3.5	84.4	85.5	85.6	1.2
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.1	96.2	97.6	1.5	92.8	93.2	94.2	1.4
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	92.5	92.8	95.0	2.5	91.9	92.9	92.0	0.1

(表7) 質問事項	小学校 6年生				中学校 3年生			
	国	県	大山町	全国との差	国	県	大山町	全国との差
普段(月曜日から金曜日)、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)を1日2時間以上している割合	31.1	26.9	26.5	-4.6	37.6	33.3	26.7	-10.9
普段(月曜日から金曜日)、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1日2時間以上している割合(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)	12.0	9.6	11.6	-0.4	32.2	25.2	18.8	-13.4

## 【自分も周りも大切にする子どもを育てるために】

「勉強していますか」(表5)という項目も国・県平均を大きく上回る結果となっています。小学校の自主学習ノートの取り組みや、中学校における定期テスト前の家庭学習計画の取り組みなどが成果となつて表れています。

ここ数年、携帯電話等でのトラブルやゲームによる基本的生活習慣の乱れ、オンラインゲームによる睡眠不足から体調を崩す事例が社会的な問題となっています。

「普段(月曜日から金曜日)、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)を一日2時間以上している割合」(表7)と

「人が困っているときは、進んで助けていますか」、「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」(表6)の項目については、国や県の平均と比べても大きな差はありません。しかし、「人が困っているときは、進んで助けていますか」の項目についても、80%以上の高い数値を示しているものの、逆に考えると約15%~20%の子ども達が「助けない」と考えていることになります。子ども達同志の心を取り組みが必要です。

大山町の宝でもある子ども達を、「自分も周りの人も大切にすることができる将来の大山町を支える人材」へと育していく必要があります。

大山町の小・中学生の学力は、確実に向上しています。これからも学校と家庭、地域が連携して子ども達の生活習慣の改善や規範意識の向上について確実な取り組みを進めてい

## 【家庭での過ごし方の見直し】